

精神専門

問 題

◎ 指示があるまで開かないでください。

一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟
平成30年度社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験

注 意 事 項

1 試験時間等

専門科目の試験問題数は80問で、解答時間は2時間20分です。

2 解答用紙への氏名等の記入

はじめに、解答用紙に学校名、氏名を記入してください。次に、右側の一番上の欄に受験番号を記入し、その下のマークシートの欄には、受験番号の英字及び数字に対応する○を、次表の例にならって塗りつぶしてください。

(例) 受験番号 1 6 A 0 1 2 - 3 4 5 6 H の場合

平成30年度
社会福祉士
精神保健福祉士
全国统一模擬試験
(精神専門) 解答用紙

学校名	ソーシャルワーク大学
氏名	ソ 教 連 子

受験番号	1	6	A	0	1	2	-	3	4	5	6	H
	①	①	●	●	①	①		①	①	①	①	Ⓐ
	●	①	Ⓑ	①	●	①		①	①	①	①	Ⓑ
	②	②	Ⓒ	②	②	●		②	②	②	②	Ⓒ
	③	③	Ⓓ	③	③	③		●	③	③	③	Ⓓ
	④	④	Ⓔ	④	④	④		④	●	④	④	Ⓔ
	⑤	⑤	Ⓕ	⑤	⑤	⑤		⑤	⑤	●	⑤	Ⓕ
	⑥	●	Ⓖ	⑥	⑥	⑥		⑥	⑥	⑥	●	Ⓖ
	⑦	⑦	Ⓗ	⑦	⑦	⑦		⑦	⑦	⑦	⑦	●
	⑧	⑧	Ⓖ	⑧	⑧	⑧		⑧	⑧	⑧	⑧	Ⓙ
⑨	⑨	Ⓚ	⑨	⑨	⑨		⑨	⑨	⑨	⑨	Ⓚ	

(注意) この場合、0も必ず塗りつぶしてください。

3 解答方法

(1) 出題形式は五肢択一を基本とする多肢選択形式となっています。各問題には1から5まで5つの答えがありますので、そのうち、問題に対応した答えを〔例1〕では1つ、〔例2〕では2つを選び、解答用紙に解答してください。

〔例1〕 問題 201 次のうち、県庁所在地として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 函館市
- 2 郡山市
- 3 横浜市
- 4 米子市
- 5 北九州市

正答は「3」ですので、解答用紙の

問題 201 ① ② ③ ④ ⑤ のうち、③ を塗りつぶして、

問題 201 ① ② ● ④ ⑤ としてください。

〔例2〕 問題 202 次のうち、首都として、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 シドニー
- 2 ブエノスアイレス
- 3 上海
- 4 ニューヨーク
- 5 パリ

正答は「2と5」ですので、解答用紙の


問題 202 ① ② ③ ④ ⑤ のうち、② ⑤ を塗りつぶして、

問題 202 ① ● ③ ④ ● としてください。

- (2) 採点は、光学式読取装置によって行います。解答は、鉛筆を使用し、○の外にはみださないように濃く塗りつぶしてください。なお、シャープペンシルは問題ありませんが、ボールペンは使用できません。

良い解答の例……………●

悪い解答の例…………… (解答したことになります)

- (3) 一度解答したところを訂正する場合は、消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残ったり、 のような消し方などをした場合は、訂正したことになりませんので注意してください。
- (4) 〔例1〕の問題に2つ以上解答した場合は、誤りになります。〔例2〕の問題に1つ又は3つ以上解答した場合は、誤りになります。
- (5) 解答用紙は、折り曲げたり、チェックやメモなどで汚したりしないように特に注意してください。

4 その他の注意事項

- (1) 印刷不良や落丁があった場合は、手を挙げて試験監督員に連絡してください。
- (2) 問題の内容についての質問には、一切お答えできません。
- (3) 試験終了後、この試験問題はお持ち帰りください。
- (4) この試験問題は、複製、譲渡、電子記録媒体への記録・転載等を固く禁じます。

精神疾患とその治療

問題 84 脳の障害部位とその症状に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 後頭葉が障害されると、企図振戦、失調歩行、回転性めまいなどの症状が現れる。
- 2 ブローカ中枢が障害されると、言語の理解が困難になる。
- 3 両側の後頭葉が障害されると、視覚認知の障害が現れる。
- 4 優位半球の側頭葉が障害されると、言語表出の障害が現れる。
- 5 視床が障害されると、自律神経系の調節が困難となる。

問題 85 薬物依存に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 薬物依存は、ICD-10では「物質関連障害および嗜癖性障害群」に分類される。
- 2 依存症候群では、物質使用への強い渴望と幻覚妄想の出現が必須である。
- 3 精神依存とは、薬物を「精神的」又は「身体的」にやめられなくなる状態のことである。
- 4 覚醒剤使用による薬物依存は、ICD-10の「カフェインおよび他の精神刺激薬使用による精神および行動の障害」に分類される。
- 5 薬物依存に伴う精神および行動の障害は、ICD-10ではF 6 群に分類される。

問題 86 統合失調症に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 幻聴は、みられない。
- 2 重症の場合には、無意味な言葉を羅列する「言葉のサラダ」と呼ばれる状態になる。
- 3 自我障害として、自分の考えや行動が自分のものであるという能動意識が障害される。
- 4 急性期には、病識はあることが多い。
- 5 緩徐に発症したほうが、急性発症より予後がよい。

問題 87 精神疾患と症状に関する次の組合せのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知症——希死念慮
- 2 統合失調症——見当識障害
- 3 躁病——観念奔逸
- 4 うつ病——予期不安
- 5 パニック症（パニック障害）——幻聴

問題 88 Aさん(23歳, 男性)は, 大学を卒業した後, 銀行に勤め1年が経過した。

その頃より不眠やいらだちなどの精神不調をきたすようになり, 仕事が思うようにできなくなってきた。そんなある日, 職場で突然「自分は神の子だ」と言い出し, 周囲を驚かせた。

次のうち, このときのAさんの症状として, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 関係妄想
- 2 注察妄想
- 3 妄想気分
- 4 妄想着想
- 5 妄想知覚

問題 89 検査に関する次の記述のうち, **正しいものを1つ**選びなさい。

- 1 認知症の診断には, ウェクスラー式知能検査でIQ値を確定する必要がある。
- 2 MRIでは, 脳血流の状態が可視化され, 認知症の診断に用いられる。
- 3 SPECTでは, 脳実質の萎縮が可視化され, 認知症の診断に用いられる。
- 4 抑うつ気分を症状とする疾患において, CTやMRIで異常が認められることがある。
- 5 改訂長谷川式簡易知能評価スケールは, 睡眠障害の評価に用いられる。

問題 90 統合失調症に対する薬物（抗精神病薬）療法に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 アドヒアランス向上のため、薬物に関する情報を十分に提供すべきである。
- 2 定型抗精神病薬では、1年以上薬物を使用してから起こる副作用として、眼球が上転するジストニアの発作がある。
- 3 非定型抗精神病薬では、原則として、副作用を抑制する抗コリン剤などの薬物を併用する。
- 4 陽性症状が治まれば、副作用の発現を避けるため速やかに薬物を中止する。
- 5 副作用の兆候を認めない場合でも、薬物を使用している間は定期的に血液検査を行う必要がある。

問題 91 次のうち、うつ病への実証的な効果が認められており、我が国でも一般的に用いられている治療法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知行動療法
- 2 社会生活技能訓練（SST）
- 3 心理教育
- 4 精神分析療法
- 5 自律訓練法

問題 92 精神保健福祉の動向に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 精神病床の利用率は、2010年（平成22年）以降増加傾向にある。
- 2 入院形態別入院患者数において、医療保護入院の割合は2011年（平成23年）以降減り続けている。
- 3 精神障害者保健福祉手帳の所持者数は、2011年（平成23年）以降増加傾向にある。
- 4 疾患別精神障害者数で最も多いのは、統合失調症である。
- 5 2014年（平成26年）のアルコール使用（飲酒）による精神及び行動の障害における患者数は、2011年（平成23年）と比べ減少している。

問題 93 次のうち、2013年（平成25年）の「精神保健福祉法」の改正に伴って、医療保護入院を行うために精神科病院の管理者に新たに課せられることになった義務として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 社会復帰調整官の配置
- 2 市町村との連携体制の整備
- 3 医療保護入院者退院支援委員会の設置
- 4 精神保健指定医2名以上による診察
- 5 退院請求や処遇改善請求を行うための窓口の設置

(注) 「精神保健福祉法」とは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」のことである。

精神保健の課題と支援

問題 94 老年期における精神保健に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 老年期は、ほかの年代に比べて仕事や家庭でのストレスを体験しやすく、うつ病の好発年齢とされている。
- 2 老年期では、視力や聴力など身体機能全般の低下を通して、身体の老化を自覚していくが、精神機能の老化が自覚されることはない。
- 3 老年期における家庭は、子どもが自立していく時期であり、主婦の中には「空の巣症候群」がみられる人も多い。
- 4 2017年（平成29年）中における年齢階級別の自殺者数は、60歳代、70歳代、80歳代以上において、前年より減少した。
- 5 2012年（平成24年）の「健康日本21（第二次）」では、積極的に介護保険サービスの利用者を増やす目標が盛り込まれた。

問題 95 児童虐待に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 2016年度（平成28年度）の全国児童相談所での児童虐待相談の内容別件数は、身体的虐待の割合が最も多く、次に心理的虐待の割合が多い。
- 2 「児童虐待防止法」で定義された児童虐待の対象は、乳幼児と小学生である。
- 3 児童が同居する家庭における配偶者やその他の家族などに対する暴力や暴言は、「児童虐待防止法」では身体的虐待に該当する。
- 4 虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、児童相談所に通告することが義務づけられている。
- 5 子育て世代包括支援センターには、主に妊産婦等を対象にした児童虐待の発生予防のための策を講じることが義務づけられている。

(注) 「児童虐待防止法」とは、「児童虐待の防止等に関する法律」のことである。

問題 96 ストレスチェック制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ストレスチェック制度は、労働者の時間外労働などの物理的な負担の程度を把握するための検査である。
- 2 労働者数50人以上の事業場は、常時雇用の労働者に対して、年に1回ストレスチェックを実施することが義務づけられている。
- 3 高ストレス者に該当する労働者には、医師による面接指導を行うことが事業者の義務である。
- 4 ストレスチェックは、衛生管理者が実施する。
- 5 事業者がストレスチェックに用いる調査票として、「職業性ストレス簡易調査票」が義務づけられている。

問題 97 不登校児童に対するスクールソーシャルワーカーの支援に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 家族との面接で知り得た情報は、学校には伝えず、守秘義務を徹底する。
- 2 児童は判断力が不十分なため、家族の気持ちや希望を優先する。
- 3 まず、本人及び家族との信頼関係を築くことが大切である。
- 4 不登校により学習する機会が奪われていることから、学習指導を行う。
- 5 いじめがある場合、いじめている人を特定し、いじめている人の臨床心理アセスメントを行う。

問題 98 2017年（平成29年）7月25日に閣議決定された「自殺総合対策大綱」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 基本理念では、自殺対策として困難な状況においても折れない心をもつことが生きることの促進要因を増やすとしている。
- 2 自殺総合対策の基本方針として、自殺対策の個別の施策は、対人支援・地域連携・社会制度・予防対策の4つのレベルに分けて総合的に推進するものとする。
- 3 地域レベルの実践的な取り組みへの支援を強化するため、地方公共団体は地域自殺対策計画策定の支援を行うことが責務である。
- 4 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐため、子どもや若者に特定した居場所づくりとの連動による支援が推進された。
- 5 勤務問題による自殺対策のため、厚生労働省は「働き方改革実行計画」を踏まえて、長時間労働を是正し、違反には罰則を科すことになった。

問題 99 ひきこもり地域支援センターに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 実施主体は、市町村である。
- 2 内閣府によるひきこもり対策推進事業に基づいて設置された。
- 3 ひきこもり支援コーディネーターとして、社会福祉士と精神保健福祉士の配置が義務づけられている。
- 4 成人期のひきこもり地域支援センターは、ひきこもりの状態にある18歳以上の本人又は家族等を支援の対象とする。
- 5 365日24時間体制で運営される。

問題 100 アルコール健康障害に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 アルコール健康障害とは、不適切な飲酒の影響に関連した身体疾患のことをいう。
- 2 アルコール健康障害の原因となる不適切な飲酒に未成年の飲酒は含まれない。
- 3 アルコール健康障害対策基本法の施行により、アルコール関連問題啓発週間が設けられた。
- 4 都道府県には、アルコール健康障害対策推進計画の策定が義務づけられている。
- 5 アルコール健康障害対策推進会議は、専門家、当事者等の委員で構成され、厚生労働大臣が任命する。

問題 101 自殺予防や対策に関する用語の説明として、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 プリベンションとは、あらかじめ自殺の原因の除去や教育によって、自殺が起きるのを予防することである。
- 2 インターベンションとは、自殺の可能性を予見し、そうならないようにあらかじめアセスメントとプランニングをする一連の支援である。
- 3 ポストベンションとは、自殺の死因を明確にして、社会的な対策を立てることである。
- 4 ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人を意味する。
- 5 メンタルヘルス・ファーストエイド（MFA）は、自殺予防に特化した教育プログラムである。

問題 102 精神障害者のセルフヘルプグループに関する記述として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 起源は、統合失調症を発症した人たちの患者会とされる。
- 2 専門家によって発足するものもある。
- 3 認知機能に影響のない精神障害者たちの活動の場となっている。
- 4 専門家との距離を保つグループを指し、専門家と協働するグループはセルフヘルプグループとはいえない。
- 5 リカバリー概念は、1970年代にアメリカの精神障害者のセルフヘルプグループが主に推進し、その後、国際的に発展した。

問題 103 世界保健機関（WHO）によるメンタルヘルスに関する取り組みの記述として、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 メンタルヘルスアクションプラン2013-2020と精神保健の格差に関する行動プログラム（mhGAP）は、ともに発展途上国の支援を念頭においたものである。
- 2 メンタルヘルスアクションプラン2013-2020において、「世界的目標」として具体的な到達目標が示されている。
- 3 mhGAPは、うつ病や統合失調症など、優先して取り組むべき疾患・状態を掲げている。
- 4 mhGAPにおける専門家の役割は、主に精神科医や看護師などによる精神疾患の患者への直接的な治療の提供である。
- 5 WHOの「自殺を予防する世界の優先課題」は、自殺企図の当事者及びその家族を対象として詳細な予防スキルを示すことを目的としている。

精神保健福祉相談援助の基盤

問題 104 精神保健福祉士法に規定されている精神保健福祉士の義務等に関するものとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 社会の多様なニーズに対応し業務の内容が変化するため、更新研修を受講しなければならない。
- 2 精神障害者に主治医がいるときは、その指示を受ける義務がある。
- 3 精神保健福祉士でない者は、精神保健福祉士の業務を行ってはならない。
- 4 精神障害者の立場に立って、誠実に業務を行わなければならない。
- 5 精神保健福祉士としての退職後は、秘密保持義務が免責される。

問題 105 精神保健福祉士の倫理綱領の「倫理基準」に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 クライアントが自己決定できない場合は、精神保健福祉士がクライアントに代わって積極的に決定していくことが定められている。
- 2 業務についてクライアントから批判されても、専門職として自分の考えを優先するように定められている。
- 3 専門職としての価値・理論に基づく実践の向上に努め、継続的に研修や教育に参加しなければならないことが定められている。
- 4 所属機関等が、クライアントの人権を尊重し、業務の改善が必要な際には、適切な方法により機関に対し提言し、改善を図ることが定められている。
- 5 専門職としての価値・理論・実践をもって、地域及び社会の活動を指導し、社会の変革と精神保健福祉の向上に貢献することが定められている。

問題 106 精神保健福祉士，認定社会福祉士の認定制度に関する次の記述のうち，正しいものを1つ選びなさい。

- 1 精神保健福祉士が認定精神保健福祉士となるには，厚生労働大臣が定める研修会を受けなければならない。
- 2 認定社会福祉士の認定申請では，社会福祉士資格取得後，相談援助実務経験が5年以上あり，そのうち申請する分野での相談援助実務経験が2年以上あることが要件となっている。
- 3 認定社会福祉士の登録機関は，厚生労働省である。
- 4 精神保健福祉士がストレスチェックの実施者になるには，公益社団法人日本精神保健福祉士協会が実施する講習会を受講しなければならない。
- 5 認定社会福祉士は，所属組織の分野のみならず，あらゆる分野における高度な専門性を発揮できる能力を有する者として位置づけられている。

問題 107 ソーシャルワークの形成過程に関する次の記述のうち，正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ジャーメイン (Germain, C. B.) は，エコロジカルアプローチを提唱し，その視点は生活モデルに取り入れられた。
- 2 リッチモンド (Richmond, M. E.) は，ソーシャルワークの基本的な前提を「心理社会的過程」と表現し，社会的な側面にも注意を払うことの重要性を提唱した。
- 3 パールマン (Perlman, H. H.) は，機能的アプローチについて，ワーカーとクライアントの関係を「機関の機能」という枠組みの中で位置づけた。
- 4 ハミルトン (Hamilton, G.) は，ソーシャルワークを，社会的証拠の収集→比較・推論→社会的診断という一連の過程として規定した。
- 5 タフト (Taft, J.) は，問題解決アプローチを理論化し，問題解決に取り組む利用者の力を「ワーカビリティ」と表現した。

問題 108 Bさん（40歳，男性）は，20年前に統合失調症を発症し，それを機に勤めていた会社を退職し，その後10年間は，数か月から1年間ほどの入退院を繰り返してきた。退院後は薬を自己管理しながら病院のデイケアを利用し，福祉的就労ができるまでに回復していた。しかし，デイケアでの人間関係に負荷を感じるようになり，自分で服薬管理ができなくなったほか，生活が大きく乱れ，体調を崩したため，数年ぶりの入院となった。Bさんは時折，主治医や病院スタッフに退院への思いを語る一方で，退院することへの不安も大きく，自分の思いを整理できないでいたことからC精神保健福祉士が支援を行うこととなった。

次の記述のうち，C精神保健福祉士が行うBさんへの支援として，最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Bさんのこれまでの生活について，一緒に振り返る機会をもつ。
- 2 Bさんがストレングスを身につけることができるようはたらきかける。
- 3 Bさんは自分の思いを整理できていないため，支援の方向性や内容を決める。
- 4 Bさんに，入院前において何ができなくなったのか思い出してもらい，支援計画を立てる。
- 5 Bさんの環境のストレングスに着目した上で精神保健福祉にかかわる資源を優先的に活用していく。

問題 109 ソーシャルインクルージョンに関する次の記述について、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 社会福祉組織や機関における団体の組織運営，管理方法，国や地方自治体における社会保障政策に関連する制度の運営管理を指す。
- 2 社会福祉士の倫理綱領で，社会に対する倫理責任の1つとされている。
- 3 国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）のソーシャルワークのグローバル定義では，必ずしも必要ではないことを明記している。
- 4 日本で議論されるようになったのは，「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会報告書」以降である。
- 5 近年では社会の多様化に伴い，高齢者や単身世帯，外国籍の人などを含めたソーシャルインクルージョンが目指されている。

問題 110 精神保健福祉士の役割に関する次の記述のうち，正しいものを2つ選びなさい。

- 1 精神保健福祉士は，長期入院や社会的入院をしている精神障害者の社会復帰を推進する職種として誕生した。
- 2 ソーシャルワークに共通する活動の中で，今後の精神保健福祉士に求められる活動としてソーシャルアクションがあげられる。
- 3 「障害者総合支援法」や発達障害者支援法などの成立により，重複障害のある人などの支援が充実し，精神保健福祉士の役割は縮小されつつある。
- 4 医療機関に所属する精神保健福祉士は，医療チームの一員として他の専門職の指導を受けながら，精神障害者の相談支援を行う。
- 5 精神保健福祉士には「秘密保持」の義務があるが，クライアントの不利益にならなければ，他の機関や専門職との情報共有について，本人の同意は必要ではない。

(注) 「障害者総合支援法」とは，「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題 111 精神保健福祉にかかわる専門職の役割に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 相談支援専門員は、サービス等利用計画の作成、サービス利用にかかる他機関やサービス事業者との連絡調整等を行う専門職であり、国家資格である。
- 2 児童福祉司は、児童福祉に関する専門職として、「精神保健福祉法」で規定されている。
- 3 精神保健福祉相談員は、心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の生活環境の調査や調整、精神保健観察などを行う者とされている。
- 4 公認心理師は、保健医療、福祉、教育等の分野において、医師の指導のもと、心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う専門職である。
- 5 近年、教育現場でのいじめや不登校、虐待や貧困による経済的不平等などによりスクールソーシャルワーカーに対する期待が高まっている。

(注) 「精神保健福祉法」とは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」のことである。

問題 112 Dさん（46歳，男性）は，15年前に職場のいじめがきっかけで，退職した。その後，次第に元同僚の声で悪口が聞こえる，監視されていると訴えるようになり，両親に連れられ精神科を受診した。その結果，統合失調症と診断され，入院となった。その後，退院するも服薬中断や症状悪化などにより入退院を繰り返し，現在は任意入院であるものの長期入院中である。今回，症状も落ち着き，主治医より退院可能と言われ，退院後の生活についてE精神保健福祉士に相談するよう勧められた。

Dさんの両親はすでに亡くなっており，退院後は単身生活となるため，Dさんは福祉サービスの利用や日常的な金銭管理等に不安を抱いている。

次の記述のうち，権利擁護に基づくE精神保健福祉士の支援として，**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 現在の状況でDさんの入院を継続するのはよくないため，1日も早く退院させる。
- 2 Dさんの退院後の生活不安を軽減するために，日常生活自立支援事業に関する情報提供を行う。
- 3 主治医にDさんに対する合理的配慮を求める。
- 4 現在のDさんの入院治療の必要性について，精神医療審査会で審議してもらう。
- 5 Dさんの退院後生活環境相談員と協働しながら，退院支援を行う。

(精神保健福祉相談援助の基盤・事例問題1)

次の事例を読んで、問題113から問題115までについて答えなさい。

〔事例〕

Fさん(34歳、女性)は、定年退職をした両親との3人暮らしである。Fさんは大学卒業後、商社の事務員として配属された。10年後、会社の方針で営業部門に異動となった。元々人見知りであったFさんは、慣れない営業の仕事で心身ともに疲れ果て、仕事のストレスを発散するために、営業の途中で、ゲームセンターへ立ち寄るようになった。最初は気分転換のつもりであったが、次第にやめられなくなり、得意先と約束した訪問時間に遅刻を繰り返すようになった。このことが会社に発覚し、退職を余儀なくされた。

Fさんは退職後もゲームセンター通いがやめられず、さらにパチンコや競馬へとエスカレートした。大声を出して両親にお金をせがんだり、自分の洋服やアクセサリーを売って、換金するなどの行動が頻繁になった。就職活動を全くしようとしないうFさんを見て、将来を心配した両親が保健所へ相談に訪れた。G精神保健福祉相談員(精神保健福祉士)(以下「G相談員」という。)が相談に応じ、今後の対応について検討した。(問題113)

初回面接後、両親の説得もあり、Fさんは専門の精神科クリニックを受診した。ギャンブル依存症と診断され、Fさん自身、今後どうしたらよいかわからず不安になり、両親とともに、G相談員のもとを訪れた。G相談員は、Fさんの希望や不安を丁寧に聴いた上で、セルフヘルプグループを紹介した。(問題114)

その後、FさんはG相談員から紹介を受けたグループでの活動を通じて、同じ悩みを抱える仲間との交流が生まれた。また、G相談員は、Fさんや両親との定期的な面接の中で、「自分たちの経験を通じて、依存症という病気を初めて知った」と聞き、地域へ向けた普及啓発の必要性を感じた。そこで、地域住民に依存症について知ってもらう機会として、ワークショップを開催することにした。その中で、「よかれと思って手助けしたことが、依存症の病状を維持させてしまうので注意が必要である」「その人なりのストレス対処法を見つけて、新しい生き方を構築することが大切である」といったメッセージを伝えた。(問題115)

問題 113 この時点のG相談員のFさんの両親に対する声かけとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「Fさんとならお話を伺いますので、お連れくださいますか」
- 2 「家族会もありますので、そちらで相談されてはどうですか」
- 3 「Fさんは依存症の可能性がありますので、受診が必要です」
- 4 「Fさんの状況には、ご両親の養育方針が影響しています」
- 5 「こちらでは相談だけでなく、ご本人や地域に向けたさまざまな活動を行っています」

問題 114 G相談員が紹介した社会資源として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ナルコティクス・アノニマス (NA)
- 2 アルコホーリクス・アノニマス (AA)
- 3 オーバーイーターズ・アノニマス (OA)
- 4 ギャンブラーズ・アノニマス (GA)
- 5 セクサホーリクス・アノニマス (SA)

問題 115 G相談員がワークショップで伝えたメッセージを表すキーワードとして、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 ソーシャルインクルージョン
- 2 パターナリズム
- 3 イネイブラー
- 4 レジリエンス
- 5 リカバリー

(精神保健福祉相談援助の基盤・事例問題 2)

次の事例を読んで、問題116から問題118までについて答えなさい。

〔事例〕

Hさん(42歳、女性)は大学を卒業後、一般企業に勤務していたが、数年前に突然職場で発作を起こした。パニック障害と診断され、通院しながら数か月間は何とか仕事を続けていたが、また発作が起きるのではないかと不安から出勤することができなくなり、退職を余儀なくされた。現在は自宅近くでアルバイトをしながら、母親(77歳)と2人で生活している。ほとんどの家事はHさんが担当している。今でもパニック発作が起きる不安があるものの、近くに住んでいる妹が良き相談相手となっている。

母親は5年ほど前から物忘れをするようになったが、生活上、特に問題になることもなかったため、Hさんも妹も年齢相応のものと考えていた。しかし、ここ数年で食事をしたことも忘れてしまうほど母親の物忘れがひどくなった。Hさんはそのような母親にイライラし、言い争いになり、時間がたつと後悔で気分が落ち込み、家事も手につかなくなっていた。そこで、Hさんは通院しているクリニックのJ精神保健福祉士にそのことを話した。(問題116)

その後、母親は専門医の診察を受け、認知症と診断された。Hさんは、今後、母親との生活を考えると不安になった。しかし、妹は子育て中であり、あまり負担をかけられないので、何とか自分が頑張らなくてはならないと考え、ますます不安が募り、Hさんは母親の介護についてJ精神保健福祉士に相談した。(問題117)

要介護認定を受けた母親は、担当のケアマネジャーも決まり、週1回ずつホームヘルプサービスとデイサービスを利用することとなった。母親と2人だけで過ごす時間が減り、Hさんは、母親に対してイライラすることも減ってきた。また、次第にホームヘルパーやケアマネジャーとも打ち解けてきた。J精神保健福祉士は、今後母親の認知症が進んだときのこととも考え、Hさんの主治医だけでなく、母親のケアマネジャーやホームヘルパー、デイサービスのスタッフや母親の主治医等と連携を取りながら情報を共有することの必要性を感じた。(問題118)

問題 116 この場面での J 精神保健福祉士の対応として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 H さんにパニック発作が起きる可能性があるため、妹に母親の対応をしてもらうよう依頼する。
- 2 H さんは気分が落ち込んでしまっているため、薬の調整について主治医に相談するよう提案する。
- 3 H さんの母親がスムーズに受診できるよう、認知症専門の病院に連絡をした。
- 4 家事の負担を減らすため、H さんにホームヘルプサービスを導入する。
- 5 H さんと母親との生活状況を確認するため、自宅を訪問する。

問題 117 この段階での J 精神保健福祉士の対応として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 母親の物忘れがひどくなったため、H さんに成年後見制度について説明する。
- 2 介護保険の申請をするため、母親の受診した病院に診断書を依頼する。
- 3 母親の介護に費用がかかるため、母親と H さんの収入について教えてもらう。
- 4 H さんに、介護保険の大まかな仕組みについて説明する。
- 5 H さんの不安を軽減させるため、家族会に参加することを勧める。

問題 118 H さんや母親にかかわる支援者の連携について、適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 多職種で支援を行うため、指示系統は明確であることが望ましい。
- 2 守秘義務の観点から、H さんの生活状況を母親の支援者に伝えてはならない。
- 3 各支援者間の支援関係を深める必要があるため、チームメンバーの変更は行わない。
- 4 J 精神保健福祉士が中心となり、支援者会議等の調整を行うことが求められる。
- 5 H さんが混乱しないように、母親について相談できる担当者を限定しておくことが必要である。

精神保健福祉の理論と相談援助の展開

問題 119 精神障害者支援の理念であるリカバリーに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 利用者が生活の主体者として自己決定能力を高め、自己を主張し、生きていく力を発揮していくことを支援することである。
- 2 障害者が地域生活を送る上で抱えている複数の課題やニーズに対して、必要とされる複数のサービスを効果的に結びつける支援方法のことである。
- 3 障害がありながらも一人の生活者として生活ができる社会や環境を創造することである。
- 4 病気の症状や障害が残存していたとしても自分の人生を主体的に生きられるように目指すプロセスのことである。
- 5 ストレスのある状況下でも、その状況に耐える力や回復していく力といった、本来人間がもっている逆境を乗り越える柔軟性や力のことである。

問題 120 我が国の精神保健医療福祉の事項と人物に関する次の組合せのうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 Y問題———村松常雄
- 2 社会事業婦の起用———浅賀ふさ
- 3 宇都宮病院事件———寺谷隆子
- 4 ライシャワー事件———谷中輝雄
- 5 精神病患者慈善救済会———呉秀三

問題 121 障害者の定義及び法の対象に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 「心神喪失者等医療観察法」における対象者とは、「心神喪失又は心神耗弱の状態
で違法行為を行い、不起訴処分となるか無罪等が確定した者」と定義されてい
る。
- 2 発達障害者支援法における発達障害者とは、「発達障害がある者であって発達障
害及び社会的障壁により職業生活に相当の制限を受け、又は職業生活を営むことが
著しく困難な者」と定義されている。
- 3 犯罪被害者等基本法における犯罪被害者等とは、「身体に対する暴力又はこれに
準ずる心身に有害な影響を及ぼす言動により害を被った者」と定義されている。
- 4 いじめ防止対策推進法における「いじめ」とは、「児童等に対して、当該児童等
が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等
が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるもの
を含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているも
の」と定義されている。
- 5 難病の患者に対する医療等に関する法律における「難病」とは、「発病の機構が
明らかでなく、かつ、治療方法が確立していない希少な疾病であって、当該疾病に
かかることにより長期にわたり療養を必要とすることとなるもの」と定義されてい
る。

(注) 「心神喪失者等医療観察法」とは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行っ
た者の医療及び観察等に関する法律」のことである。

問題 122 精神科リハビリテーションの基本原則に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 精神疾患の症状の軽減を焦点とする。
- 2 精神障害を抱える人の住居，教育，職業上のアウトカムを改善することを焦点とする。
- 3 本人の自立を重視し，依存を防いでいく。
- 4 長期の薬物療法は必要としない。
- 5 評価や介入には，当事者の観点を反映させない。

問題 123 Kさん（女性，30歳）は，精神科病院を退院後，デイケアや訪問看護サービスを利用しながら生活していたが，とても仲のよかったデイケアの友人が1か月前にがんで亡くなったことにショックを受け，それがきっかけとなり自宅に引きこもりがちになっていた。L精神保健福祉士が訪問した時に，Kさんは亡くなった友人の声が幻聴として聞こえることや自分も病気で死んでしまうのではないかという不安が高まりうつ状態となっていた。

次の記述のうち，この時のL精神保健福祉士の対応として，最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 幻聴や不安などの症状に対して，すぐに主治医の診察を受けるように勧める。
- 2 薬を飲んでいない可能性があるので，すぐにKさんと一緒に服薬のチェックを行う。
- 3 気分転換のために，Kさんと一緒に買い物に出かけようと誘う。
- 4 うつ状態のKさんが，これからどうすればよいか今後の解決策を考えるため，認知行動療法を行う。
- 5 Kさんの喪失感や不安な思いをしっかりと受容し，亡くなった友人との思い出やKさんの気持ちをゆっくり聴く。

問題 124 次の記述のうち、息子のMさんについて、発達障害者支援センターに初めて相談に来たAさん（49歳，女性）のインテークにおける精神保健福祉士の応答として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Aさんが「Mは難産で、未熟児だったこともあって甘やかしてきました。保育園が遠くて送迎も大変でした。そういえば、お遊戯会の時は…」と、とめどなく話すので「ほお」「そうですか」と相づちを繰り返して時間も気にせず傾聴した。
- 2 AさんがMさんについて「小さい時から上の子に比べて育てにくいと感じて…、その…、あ、でもこんなこと…」と発言に戸惑いをみせたため、「どんなことでも安心してお話してください」と応答した。
- 3 Aさんが「Mはもうすぐ18歳になるのに、母親である私がどれだけ心配しているか、ちっともわかっていません。正直言って憎らしく思う時もあります」と顔をしかめたため、「そんなふうにはいけませんよ」といさめた。
- 4 Aさんが「実は私も人の気持ちを理解するのは苦手で、人付き合いも悪い人間です…。私の育て方が悪かったと義母に言われ続けてきました」と涙をこぼしたので、「これからは適切に対応していきましょう」と励ました。
- 5 Aさんが「夫は、『Mだって就職させればなんとかなる。知り合いに頼んでみるよ』と言いますが、そんなにうまくいくとは思えなくて…」と話すので、「それは、やってみなければわかりませんね」と笑顔を向けた。

問題 125 退院を1週間後に控えたBさん(30歳, 男性, 統合失調症)は, 精神科病院に勤務するC精神保健福祉士と面接をしていた。Bさんは退院後, 通院先のデイケアと障害福祉サービスの居宅介護を利用しながらアパートでの単身生活を予定している。BさんはC精神保健福祉士に「家族は遠方で頼れないし, 1人で身の回りのことをできるか不安。薬も飲み忘れてたらどうしよう。ちゃんと単身生活を送れるか不安です」と話した。

次の記述のうち, C精神保健福祉士のストレングスモデルに基づいたかかわりとして, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 「このような不安を相談できることも大切ですよ」と伝える。
- 2 「家族を頼れないのは不安ですよ」と伝える。
- 3 「身の回りのことは居宅介護の担当者にまかせましょう」と伝える。
- 4 「薬を飲み忘れてたら, すぐに病院に電話してください」と伝える。
- 5 「不安が強い場合には, また入院できるように主治医と相談します」と伝える。

問題 126 次のうち, 薬物依存症への集団精神療法として, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 エンカウンターグループ
- 2 心理劇(サイコドラマ)
- 3 スマープ(SMARPP)
- 4 弁証法的行動療法(DBT)
- 5 社会生活技能訓練(SST)

問題 127 包括型地域生活支援プログラム（ACT）に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 軽度の精神障害をもつ人を対象に提供される。
- 2 マルチディシプリナリ・モデルに基づく「多職種チーム」により実施される。
- 3 医療・保健・福祉・就労等の各プログラムを仲介していく。
- 4 「地域生活訓練」（TCL）と呼ばれる試みから発展した。
- 5 ケアマネジメントとは異なるモデルである。

問題 128 ケアマネジメントの過程におけるモニタリングに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の抱える問題を把握し、問題解決のための方法や社会資源の検討を行う段階である。
- 2 利用者や家族との面談等を通じて、心身機能の状態や生活環境の状況について情報を収集し、ケアマネジメントの対象になるかどうかを確認する段階である。
- 3 利用者のニーズを満たす社会資源と利用者を結びつけることである。
- 4 ケアマネジメント従事者とサービス提供者で行うことが望ましい。
- 5 利用者の心身の状況や生活環境の変化がみられる場合は頻度を増やし、状況が安定するに従って定期的実施することが望ましい。

問題 129 スーパービジョンの支持的機能に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 スーパーバイザーの実践における葛藤や不安などの率直な語りをスーパーバイザーが受け入れることなどを表し、バーンアウト（燃え尽き症候群）を防ぐことができる。
- 2 スーパーバイザーのニーズを直接的に満たすために、スーパーバイザーとスーパーバイザーが1対1でスーパービジョンを行うことである。
- 3 経験年数の近い者同士が互いの実践をもとに意見交換をすることで、ソーシャルワーカーとしての価値や知識、技術について検討できる。
- 4 スーパーバイザーの相談面接にスーパーバイザーが同席したり、スーパーバイザーの相談面接にスーパーバイザーが同席し、「今ここで」起きていることを通してスーパービジョンを行うことである。
- 5 スーパーバイザーに共感的に受け止められる経験を重ね、スーパーバイザーが利用者をよりよく受け止められるようになるプロセスのことである。

問題 130 ジェノグラムに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 クライアントと家族、周囲の人々、社会資源とのつながりを円や線を用いて表現したものである。
- 2 3世代以上の家族間の関係性を図式化したものである。
- 3 クライアントが属する小集団内の人間関係の構造を図式化したものである。
- 4 クライアントのライフイベントなどのトピックスを、時間軸に沿って記載するものである。
- 5 家族の成員間の力関係や情緒的な結びつきを記号で図示し、単純化してとらえるものである。

問題 131 Dさん（女性，55歳）の弟（50歳）は統合失調症で入退院を繰り返し現在は自宅で療養している。E精神保健福祉士の勧めでDさんは初めて家族教室に参加することになり，弟がひきこもって他者と関わらず社会に出て行こうとしないなどの問題点を話し続けていた。ファシリテーターのE精神保健福祉士は，Dさんに対して「弟さんがひきこもっているのは，今の段階では外から多くの刺激を受けることを避け，自分なりの対処でペースを守っているからではないでしょうか？」と話した。

次のうち，E精神保健福祉士が用いた技法として，正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ジョイニング
- 2 リンケージ
- 3 リフレーミング
- 4 ダブルバインド
- 5 エンゲージメント

(精神保健福祉の理論と相談援助の展開・事例問題1)

次の事例を読んで、問題132から問題134までについて答えなさい。

[事例]

Fさん(43歳, 男性)は, N市で生活保護を受給しながらアパートで一人暮らしをしていたが, 生活のリズムが崩れたことをきっかけに, 以前発症した統合失調症が再燃し, 近県に住むFさんの母親の同意で入院に至った。しかし, 入院中にアパートの大家より「引き払ってほしい」と言われ, 退院後の住まいを失い, 入院から2年が経過している。主治医は, 「現在のFさんの病状は安定しているので, 住まいが確保できれば退院できる」と判断しているものの, 母親は入院前に暴力をふるわれた経験からFさんへのかかわりを拒否している。

ある日, 主治医よりG精神保健福祉士に連絡が入った。「Fさんが早く退院したいと言っている。何より心配なのは退院後に生活のリズムが崩れることだから, グループホームをFさんに勧めた。相談に乗ってほしい」との依頼であった。G精神保健福祉士は異動によりFさんの担当になったばかりである。翌日になると, FさんからG精神保健福祉士に面接希望があり, 病棟で初めてFさんと会うことになった。(問題132)

G精神保健福祉士は, 定期的に面接を重ね, 入院前の生活状況や家族との関係などを聞き取った。また, Fさんの同意を得て, 母親や福祉事務所からも情報を収集し, 退院に向けた課題を整理した。その結果, Fさんは, 物を整理したり捨てることが苦手なこと, 食事に執着がなく栄養を考えずに同じパンを買って食べていたこと, 家にひきこもりがちで身近に相談相手がいなかったこと, 母親はアパートの保証人を拒否していることなどの課題が明らかになった。G精神保健福祉士はこれらの課題についてFさんと話し合う機会をもった。(問題133)

退院に向けた課題整理を通じて, Fさんは「グループホームは安心感がありそうだが, 見たことがないのでどのような部屋なのかイメージがつかないです。もともと一人暮らしをしていたので, アパートに住みたい気持ちもありますが, 保証人の問題もありますし…」と悩んでいた。G精神保健福祉士は, Fさんが退院後の住まいの選択についてより考えられるよう, 関係機関との連携を検討した。(問題134)

問題 132 次の記述のうち、この時点における**G**精神保健福祉士の対応として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Fさんが早く退院できるよう、グループホームの利用手続きを説明する。
- 2 母親にグループホームの手続きをしてもらえるように、**G**精神保健福祉士が母親を説得することの了解をもらう。
- 3 Fさんの退院に向けた気持ちを伺いながら、退院後の意向や不安などを確認する。
- 4 Fさんの退院を後押しするため、**G**精神保健福祉士が考えた退院までの計画を提案する。
- 5 再入院をしないためにもゆっくりと時間をかけてリハビリテーションに取り組む必要があることを説明する。

問題 133 次の記述のうち、この時点における**G**精神保健福祉士の対応として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 退院に向けた課題を解決するには、病気の再燃を防ぐことが重要なため、服薬の必要性を説明する。
- 2 入院中に解決できない課題が多いため、救護施設への入所を提案する。
- 3 退院に向けた課題はいろいろあるが、住まい探しが最優先であることを説明する。
- 4 さまざまな課題をFさんと共有し、Fさんがそれらの課題をどのように理解しているのか確認する。
- 5 退院後の生活を失敗しないためにも、課題はすべて入院中に解決する必要があることを説明する。

問題 134 次のうち，**G**精神保健福祉士が連携を検討する関係機関とその専門職として，適切なものを1つ選びなさい。

- 1 居宅介護支援事業所の介護支援専門員
- 2 市町村社会福祉協議会の生活支援員
- 3 居宅介護事業所のサービス提供責任者
- 4 障害者就業・生活支援センターの生活支援担当者
- 5 相談支援事業所の相談支援専門員

(精神保健福祉の理論と相談援助の展開・事例問題 2)

次の事例を読んで、問題135から問題137までについて答えなさい。

〔事例〕

内科の外来看護師より「今からHさんに会ってください。糖尿病と肝機能障害で何度か入院歴がある52歳の男性です。先生が、アルコール依存症だと思うから精神科病院に入院を勧めたいとのこと」と医療福祉相談室に連絡があった。(問題135)

J精神保健福祉士は、相談室にやってきたHさんと面接した。Hさんは立ったまま「長年お世話になっていますが、アルコール依存症だなんて冗談じゃないですよ。営業やってるから酒はつきものですけど、それで精神病院なんてねえ、先生にまた注意されちゃったから控えめにしますが…」とまくしたて、「早くに妻に死なれて、苦労して育てた息子の大学受験もあるし忙しいんですよ。行けって言われたから来ましたけど、どうです？精神病じゃないでしょう？」と、J精神保健福祉士に問いかけた。室内にはアルコール臭が漂っていた。(問題136)

その後、Hさんから以下のことを聞き出した。「13年前に妻を乳がんで亡くし、一人息子を妻の実家に預けて工務店の自営に明け暮れた。もともと酒好きだったが、飲酒量が増えたのは妻を亡くしてからである。6年前に工務店は倒産し、取引先の工場に営業として嘱託で雇ってもらい現在に至る。職場の健康診断をきっかけに肝機能障害で4年前から通院し始め、糖尿病もあると言われたのは一昨年のこと。自分の両親は他界した。妻の両親とも工務店が経営難になって借金を頼んだ時に断られ、息子を引き取って以来付き合い合っていない。体調の悪さは年中感じるが、息子を一人前にするまでは頑張らなくてはと思う。酒は唯一の楽しみでやめるつもりはない」。

この場では、Hさんが精神科病院への受診をきっぱり拒否したため紹介には至らなかったが、家族状況や職場環境などを勘案し、精神保健福祉士として支援できることがあるかもしれないと伝えて再び面接することを提案した。Hさんが「じゃあ、お願いしますよ」と賛同したため、2週間後の内科受診の後で会う約束をした。(問題137)

問題 135 この段階で J 精神保健福祉士がとるべき対応として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 院内の電子カルテで H さんの病歴や生活歴をみて紹介先を決めると返答した。
- 2 近隣の精神科へ電話し、内科の看護師から聞いた話を伝えて入院可能かどうか尋ねた。
- 3 相談は予約制のため、H さんから電話を入れてもらうように伝言を頼んだ。
- 4 家族の意向を確認する必要があるため、先に H さんの家族から話を聞きたいと伝えた。
- 5 H さんから意向を確認し、必要な支援や紹介先を検討したいと返答した。

問題 136 H さんの問いかけに対する J 精神保健福祉士の応答として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 「それは私が決めることではありません。H さんはどう思われますか」と、H さんに自分で判断することを促した。
- 2 「私も一緒に考えさせていただきたいので、詳しくお話を伺っていいですか」と、H さんに質問するための仕切り直しをした。
- 3 「でも、お酒の匂いがしますね。病院に来るのに飲酒していらっしゃるのですか」と、H さんに飲酒問題の自覚を促した。
- 4 「ところで、こちらの病院にはいつ頃からかかっているいらっしゃいますか」と、話をそらして、H さんの問いかけに答えることを避けた。
- 5 「先生が必要とおっしゃっているので、受診してみることをお勧めします」と、H さんが受診に前向きになるよう後押しした。

問題 137 次回の面接に向けた J 精神保健福祉士の支援計画及び実行として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 H さんにアルコール依存症の自覚をもたせるため、これから 2 週間の飲酒頻度と飲酒量を記録してきてほしいと伝えた。
- 2 H さんの生活課題を総合的に支援するために、地域援助事業者とのケア会議を開催したいと伝えた。
- 3 精神科治療の必要性を一緒に検討するため、お酒を控えるという H さんの言葉をまずは支持し、次回その成果や状況を詳しく聞きたいと伝えた。
- 4 アルコール依存症の自覚をもたせるため、専門書籍を貸出し、次回までに読み、感想を聞かせてほしいと伝えた。
- 5 精神科への入院に備えるため、息子の世話の手配を考えることを勧めた。

(精神保健福祉の理論と相談援助の展開・事例問題 3)

次の事例を読んで、問題138から問題140までについて答えなさい。

〔事例〕

P市の社会福祉協議会に勤務するKコミュニティソーシャルワーカー（精神保健福祉士）のもとに、L民生委員が相談に訪れた。L民生委員の担当地域に暮らすMさん（80歳，女性，要介護2）は一人娘のAさん（50歳）と二人暮らしだが，家の中がごみで散乱しており，近隣住民から苦情や心配の声も出たため，最近L民生委員が保健センターに相談に行ったという。Mさんはもともと人付き合いのよい性格であったが，最近はひきこもりがちであり，他市で一人暮らしをしていたAさんがMさんと暮らしはじめてからは大声での言い争いが起こるなど，Aさんの様子も気にかかるとのことであった。

Kコミュニティソーシャルワーカーはアウトリーチによる課題把握が必要と考え，L民生委員やB保健師とともにMさんの家を訪問することになった。(問題138)

Aさんの話では，Aさん自身はうつ病により数か月前に退職して精神科クリニックに通院中であり，高齢で何かと心配な母親Mさんの身の回りの世話がやっとなかなか手が回らないとのことであった。何度かごみの片付けを手伝いながら話を伺うと，MさんはAさんが5歳の時に夫の暴力が原因で離婚しており，一人親家庭で育ったAさんは育ててくれたMさんの世話を自分一人で行いたいとのことであった。サービスを受けることに少し拒否的な様子のAさんに配慮し，ある程度関係性ができてからKコミュニティソーシャルワーカーが介護サービスについて説明を行った。Aさんは介護サービスについてインターネットで情報を得ており，自身がうつ病で疲れやすいことからサービスを受けることに興味をもっていた。しかし，他人を家に入れることへの不安があると同時に，他人に母親の世話をしてもらうことに罪悪感を覚えるとのことであった。(問題139)

L民生委員やB保健師の話では，P市にはほかにもAさん親子のように多くの問題を抱えるケースがあり，地域の課題と感じているとのことであった。Kコミュニティソーシャルワーカーはさらに詳しく調べたうえで，ネットワークづくりによってこの課題に取り組んでいくことを考えた。(問題140)

問題 138 次のうち，Kコミュニティソーシャルワーカーが課題発見のためのアウトリーチを行う際に必要なスキルとして，適切なものを1つ選びなさい。

- 1 課題を発見してから速やかに情報収集のためのネットワークを形成するスキル
- 2 何があってもクライアントの情報を他機関等に漏らさないスキル
- 3 片付けなど具体的支援は行わず，クライアントのストレングスを高めるスキル
- 4 面接等を通じて課題にともに取り組み存在としてクライアントに認めもらえるスキル
- 5 ほかの人を介さずに直接クライアントと関係性を築くスキル

問題 139 次の記述のうち，この段階におけるKコミュニティソーシャルワーカーの対応として，最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Aさんに介護者の会への参加などを勧めて，介護仲間とつながるように図る。
- 2 精神疾患を抱えているAさんではMさんの介護は困難であるため，Mさんの施設入所を提案する。
- 3 AさんがMさんについて介護サービスを受けることに両価的な気持ち（アンビバレンス）があることを受け止め，何がAさん親子にとって生活の向上になるのかを一緒に考える。
- 4 Aさんが語らないMさんに対する身体的暴力などの状況を，さらに詳しく地域住民から情報収集する。
- 5 精神疾患を抱えながらのAさんの自立を当面の目標にして，就労支援サービスに結びつける。

問題 140 次の記述のうち、Kコミュニティソーシャルワーカーが考えるネットワーク形成の方法として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 多くの人に参加してもらうため、目標は抽象的で網羅的な表現にする。
- 2 現場でのネットワークを重視するため、職場の上司へのはたらきかけは行わない。
- 3 対象を限定せず、多くの団体・機関等に参加を呼びかける。
- 4 当事者であるAさんが核となってネットワークづくりを進める。
- 5 参加する人に負担をかけないため、核となるKコミュニティソーシャルワーカーが多くのことを自分でできるようにする。

(精神保健福祉の理論と相談援助の展開・事例問題 4)

次の事例を読んで、問題141から問題143までについて答えなさい。

〔事例〕

Cさん(24歳, 女性)は, 就学前にアスペルガー症候群(当事)と診断された。Cさんの両親は, Cさんが小学4年生の時に, 母親とCさんに対する実父からの暴力が原因で離婚した。その後, Cさんが中学1年生の時に母親は再婚したが, 義父はCさんの障害を理解できず, しつけと称してたびたび叩いていた。高校までは, Cさんの真面目なところや素直なところを評価してくれる学級担任や数人の友人のサポートにより無事に卒業できた。卒業後は, 高校の先輩が就職している一般企業に事務職として就職し, 親元を離れて一人暮らしを始めた。学級担任は企業の採用担当者に本人の高校での様子は伝えたものの, 直属の上司は「気が利かない」「新人なのに余計な一言が多い」「周囲の様子をうかがうことができない」という理由でCさんを厳しく指導した。就職後1か月が経った頃, Cさんは上司が怖くて出勤できなくなり, そのまま退職した。同じ職場に勤務していた高校の先輩が, Cさんを心配して学級担任に連絡した。学級担任は, Cさんを説得して発達障害者支援センターへ相談に行った。センターからの紹介で, CさんはU就労移行支援事業所を利用することになった。D精神保健福祉士との初回面接の際, Cさんは「自分は一生懸命やっているのにいつも怒られるばかりだ」と悲しい表情で話した。(問題141)

U就労移行支援事業所のD精神保健福祉士は, Cさんの承諾を取った上で, Cさんの家族状況を知るために母親に来所してもらった。母親は「夫もうつ病で治療中のため, 娘の世話まではできない。高校まで卒業したのだから1人でがんばってほしい。多少金銭的に支援する以外にかかわることはできない」と話した。(問題142)

Cさんは, 前の職場でのことを大変つらく感じている。しかし, 働きたいとは思っており, 次は障害のことを理解した上で雇用してくれる障害者枠での就労を考えている。Cさんはパソコン業務が得意であり, そのスキルを活かして働きたいと考え, 情報処理に関する資格取得を希望している。(問題143)

問題 141 次の記述のうち、**D** 精神保健福祉士のストレングス視点による**C**さんへの支援として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 **C**さんの勤務していた状況を一緒に検討し、なぜ継続が難しかったか問題因子を抽出する。
- 2 **C**さんのこれまでの生活状況を聞き、発達障害や暴力被害がありながらも相談できる教員や友人の存在があり、社会資源につながるなど**C**さんが前を向いて歩を進めている点を評価する。
- 3 **C**さんの暴力被害を受けてきた生育歴などから、アスペルガー症候群のうえに二次障害としてPTSDを発症している可能性を考え、仕事の前にまずは自分の過去をゆっくり振り返る面接を提案する。
- 4 家庭・学校・職場におけるアスペルガー症候群への全般的理解が進んでいないことから、**C**さんと協働して理解を求める活動を考えていく。
- 5 1か月で入社拒否になり退職した**C**さんの現在の暗い表情を受け、まず精神科医療の受療を勧める。

問題 142 次の記述のうち、この時点でD精神保健福祉士がCさんの母親に行った支援として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 母親がアスペルガー症候群のことを理解できるように発達障害者支援センターへの相談を勧める。
- 2 母親の金銭的支援はCさんの就労意欲をそぐものになっていることを伝えて、イネイブラーからおりることを指導する。
- 3 Cさんへのかかわり方を考えるために、家族心理教育プログラムに参加するよう勧める。
- 4 Cさんが生活のやりくりに煩わされることなく仕事にチャレンジできるよう、実家に住むことはできないか打診する。
- 5 母親の事情や援助の限界を理解したことを伝え、その上で母親ができる支援を考えていることを評価する。

問題 143 次の記述のうち、D精神保健福祉士が作成する個別支援計画として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 ハローワークに行き、求人票を見る。
- 2 社会生活技能訓練（SST）に参加し、対人関係スキルの向上を目指す。
- 3 就労生活のリズムをつけるため、U就労移行支援事業所が運営するカフェの接客作業に週4日参加する。
- 4 障害者就業・生活支援センターに利用登録する。
- 5 情報処理に関する資格取得のため、職業能力開発校を見学する。

精神保健福祉に関する制度とサービス

問題 144 「精神保健福祉法」に規定されている精神障害者の定義に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 「統合失調症，精神作用物質による急性中毒又はその依存症，知的障害，精神病質その他の精神疾患を有する者」と定義されている。
- 2 「精神障害があるため，長期にわたり，職業生活に相当の制限を受け，又は職業生活を営むことが著しく困難な者」と定義されている。
- 3 「障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるもの」と定義されている。
- 4 「国民の精神的健康の保持及び増進に努めることによって，精神障害者の福祉の増進及び国民の精神保健の向上を図ること」をする者と定義されている。
- 5 「治療方法が確立していない疾病その他の特殊の疾病であって政令で定めるものによる障害の程度が厚生労働大臣が定める程度である者」と定義されている。

(注) 「精神保健福祉法」とは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」のことである。

問題 145 精神医療審査会に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 市町村に置かれている。
- 2 委員は，精神障害者の医療に関し学識経験を有する者，法律に関し学識経験を有する者の二者から構成される。
- 3 精神科病院に入院中の者の行動を制限できる。
- 4 退院請求や処遇改善請求の審査を行う。
- 5 精神障害者保健福祉手帳の申請に対する判定業務を行う。

問題 146 2011年（平成23年）の障害者基本法の改正に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 市町村が、精神障害者を対象とした福祉サービスの窓口となった。
- 2 都道府県及び市町村に対し、障害者計画の策定が義務づけられた。
- 3 12月3日から12月9日を障害者週間と定めた。
- 4 社会的障壁が定義され、社会モデルの考え方が取り入れられた。
- 5 障害を理由とした差別の禁止に関する規定が盛り込まれた。

問題 147 精神障害者保健福祉手帳を所持していることで対象となる制度やサービスについて、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 障害基礎年金
- 2 高額療養費制度
- 3 JR旅客運賃の割引
- 4 特別障害給付金
- 5 障害者の法定雇用率

問題 148 精神保健福祉センター及び保健所の役割に関する次の記述として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 精神保健福祉センターは、入院中の精神障害者への地域移行支援・地域定着支援の個別給付化を担う。
- 2 精神保健福祉センターは、自立支援医療（精神通院医療）の申請窓口としての役割を担う。
- 3 保健所は、自助グループの組織育成の役割を担う。
- 4 保健所は、都道府県における精神保健福祉の技術的中核機関という役割を担う。
- 5 保健所は、「障害者総合支援法」の障害福祉サービスの利用に関する相談を中心に、精神保健福祉に関する基本的な相談を行う役割を担う。

(注) 「障害者総合支援法」は、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題 149 更生保護制度を担う機関及び専門職に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 自立準備ホームは、行き場のない刑務所出所者等に宿泊場所を提供する施設である。
- 2 保護観察官は、保護観察所に配置されている地方公務員である。
- 3 地域生活定着支援センターは、対象者を障害者に限定し、入所中から出所後に必要な支援を継続的に行う。
- 4 更生保護施設は、個別恩赦について中央更生保護審査会に上申することができる。
- 5 就業支援センターは、自立更生促進センターにおける薬物事犯者に対する処遇の充実を図る機関である。

問題 150 「医療観察法」に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 入院処遇は、地方裁判所での裁判官と精神保健審判員からなる合議体による審判を経て決定される。
- 2 入院処遇の継続は、6か月ごとに指定入院医療機関の管理者が入院継続の申立てを行い、地方裁判所の審判を受ける。
- 3 入院処遇の期間は、原則3年としている。
- 4 通院処遇の期間は、原則10年としている。
- 5 通院処遇の期間は、対象者の転居は認められていない。

(注) 「医療観察法」とは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」のことである。

問題 151 精神保健参与員の役割に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 地方公務員の特別職であり、審判においては地域精神保健の立場から参考意見を述べる。
- 2 審判において、対象者の要望に基づいて権利擁護の立場から意見を述べる。
- 3 入院処遇において、対象者から処遇改善請求の申し出があった場合、その手続きに関する説明を行う。
- 4 通院処遇において、精神保健観察を担当する。
- 5 通院処遇において、処遇実施計画を作成する。

問題 152 Q市の保健所の精神保健福祉相談員として勤務するE精神保健福祉士は、日頃精神障害者の相談を受ける中で、精神障害者が利用する医療サービスや福祉サービスに不満を感じていることに気がついた。そこで、E精神保健福祉士は、Q市にある医療機関や福祉サービス事業所に所属する精神保健福祉士の仲間と協力して、医療や福祉サービスに関する満足度を調べるアンケート調査を初めて実施することにした。調査は、デイケアや福祉サービス事業所それぞれの機関に所属する精神保健福祉士が、自分の所属する機関を利用する利用者に呼びかけて集まってもらい、アンケートの趣旨を説明し、調査を実施した。調査を計画した時点で、Q市にある医療機関や福祉サービス事業所を利用している精神障害者は約600名であったが、今回の調査に参加し回答をしたのは150名ほどであった。

次のうち、この調査で使われた社会調査の手法として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 縦断調査
- 2 留め置き調査
- 3 集合調査
- 4 悉皆^{しっかい}調査
- 5 パネル調査

(精神保健福祉に関する制度とサービス・事例問題)

次の事例を読んで、問題153から問題155までについて答えなさい。

〔事例〕

Fさん(50代、男性)は、V県にて長男として出生した。父親はFさんが小学生時に他界している。高校一年生の頃、いじめにあったことが原因で中退し、自室にひきこもり、自宅に閉居しがちな状態に陥った。30歳の頃、昼夜問わず怒声や奇声を発するようになり、ある日突然大声で叫びながら家を飛び出した。すぐに母親が110番通報し、Fさんは警察に保護されるが、「自分は明治天皇の生まれ変わりだから自分を監視し付け狙う組織がいる」と幻覚妄想状態で自傷他害のおそれが著しいと認められ、警察官の通報により精神保健指定医2名の診察の結果、統合失調症の診断でW精神科病院にV県知事の命令に基づく入院となった。(問題153)

入院後、数日経ち入院時の症状が消失したため、医療保護入院に切り替え治療を継続した。Fさんは主治医に「監視されることもなく体調は問題ないので家に帰りたい」と話したが、母親はまたひきこもりの生活に戻ってしまうと心配していた。その後も病態は安定していたが、母親の反対が強く、Fさんも母親を困らせたくないと思い、入院に同意して任意入院に変更され20年余りが過ぎた。

年々Fさんの退院意欲が減退していくなか、母親が血管性認知症を患い介護老人福祉施設へ入所となった。もともと、親類縁者とは疎遠であったことから、周囲に頼る人がいなくなり、退院をあきらめるようになっていた。Fさんの現在の主治医とG精神保健福祉士は、退院をあきらめてしまったFさんの退院支援について検討し、Fさんや看護師、その他の医療チームと保健所のH精神保健福祉相談員を交えてケア会議を開催した。Fさんは会議の中で、「以前、精神保健福祉士の心理教育プログラムでグループホームの説明を聞いたことがあったが、施設は気乗りしないと思っていた。でも、一人暮らしにも不安がある」と意思が示された。(問題154)

このことを鑑みH精神保健福祉相談員よりFさんが安心して地域で一人暮らしが送れるように、「障害者総合支援法」の2016年(平成28年)の改正で新設された、地域生活を支援する新たなサービスなど支援計画の提案がなされ、Fさんの地域生活支援について協議が行われた。(問題155)

問題 153 次のうち、Fさんの入院の決定について不服がある場合の審査請求先として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 精神医療審査会
- 2 地方精神保健福祉審議会
- 3 厚生労働大臣
- 4 都道府県知事
- 5 精神科病院の管理者

問題 154 G精神保健福祉士の心理教育プログラムの中で説明したグループホームに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 特定障害者特別給付費として家賃補助の助成がある。
- 2 入浴や排泄の介護は行わない。
- 3 サービス提供責任者が配置されている。
- 4 障害支援区分1以上の障害者が対象である。
- 5 1つの本体住居に対するサテライト型住居の設置数の上限は設けられていない。

問題 155 Fさんのケア会議において提案のあった「障害者総合支援法」に定める新しいサービスに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 居宅で単身生活を送る障害者に対し、緊急時に必要な支援を行う。
- 2 対象者には、共同生活援助(グループホーム)を利用していた障害者も含まれる。
- 3 就業に伴う生活面の課題に対応できるように、家族や事業所等との連絡調整を行う。
- 4 サービスの利用期間は1年間で更新は認められない。
- 5 市町村の地域生活支援事業に位置づけられている。

精神障害者の生活支援システム

問題 156 精神障害者の現状に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 精神疾患による年間の外来患者では、統合失調症が最も多い。
- 2 精神障害者保健福祉手帳所持者の住まいの状況は、一人暮らしが最も多い。
- 3 精神障害者保健福祉手帳所持者の最も介助が必要な日常生活動作は、「自分の意思を伝えること」である。
- 4 民間企業に障害者雇用により新規で雇用された精神障害者は、知的障害者より少ない。
- 5 厚生労働省「平成28年度衛生行政報告例」によると、精神障害者保健福祉手帳交付台帳登録数は、3級が最も多い。

問題 157 「統合的生活モデル」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 地域を基盤とした専門性、当事者性、素人性を統合した生活支援システムである。
- 2 リカバリーを目標理念としたセルフヘルプとソーシャルサポートを統合した生活支援システムである。
- 3 非医療的な支援の枠組みとしてとらえた生活支援システムである。
- 4 生活維持システムが機能できなくなったときに利用される生活支援システムである。
- 5 精神保健福祉士等の専門職には、地域全体をデザインしていく力が求められる。

問題 158 「障害者総合支援法」における自立生活援助に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 救護施設に入居している精神障害者も対象となる。
- 2 共同生活援助から一人暮らしをした場合、その事業所が引き続き自立生活援助も担当することになる。
- 3 夜間や休日は電話対応を主として、訪問は行わない。
- 4 疾病等のある家族と同居し、家族による支援が見込めない場合、実質一人暮らし状態であっても自立生活援助は利用できない。
- 5 原則として、メールでの対応は行わない。

(注) 「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題 159 Jさん（50代，女性）は，20代で統合失調症（当時は精神分裂病）を発症し，入退院を繰り返した時期もあったがこの10年間ほどは病状も安定している。最近まで，Y精神科病院への通院を継続しながら母親（80代）と2人で自宅に暮らし，日中はZ地域活動支援センター（指定特定相談支援事業所・指定一般相談支援事業所併設）に通っていた。しかし，母親が急逝し，葬儀の前後には他県に暮らす兄が来たものの，Jさん自身の希望で，その後自宅で一人暮らしをしている。Jさんは，母親の葬式から約2週間後にZ地域活動支援センターに来所したが憔悴し，食事や整容にも気を配ることができていない様子であった。Z地域活動支援センターのK精神保健福祉士が声をかけると，Jさんは「急に一人暮らしになったので，何をしてもよいかわからない。夜になると不安でよく眠れない」と話した。

次のうち，K精神保健福祉士が検討するJさんへの支援として，適切なものを2つ選びなさい。

- 1 Y精神科病院への入院支援
- 2 Jさん自身も含めたケア会議の開催
- 3 精神科救急情報センターへの連絡
- 4 グループホームへの入居支援
- 5 地域定着支援の利用支援

問題 160 市町村の相談業務に関する次の記述のうち，正しいものを1つ選びなさい。

- 1 基幹相談支援センターの設置は，市町村の義務である。
- 2 指定一般相談支援事業者の指定は，市町村長が行う。
- 3 成年後見制度利用支援事業は，市町村地域生活支援事業の1つである。
- 4 自立支援医療（精神通院医療）の支給認定は，市町村が行う。
- 5 市町村で実施する「障害者の一般的な相談支援」に対応する精神保健福祉相談員を置かなければならない。

(精神障害者の生活支援システム・事例問題)

次の事例を読んで、問題161から問題163までについて答えなさい。

〔事例〕

Lさん（男性、26歳）は、大学卒業後に簿記2級の資格を活かし、事務職として不動産会社に就職した。入社半年で本来業務と併せて顧客対応も担うことになり、長時間の残業が続いた。Lさんは、長時間の残業が長期化していき、徐々に休みがちとなっていった。ある日、Lさんは家族に会社へ出勤できなくなる前から不眠があったことや、仕事中に自分のミスを指摘する声が絶えず聴こえていたと伝えた。さらに、体重減少や憔悴した様子がみられたため、Lさんは家族の勧めで精神科に受診したところ、統合失調症と診断され、入院を勧められた。

Lさんは、3か月の入院中にもう同じ会社に戻りたくないと退職を決意した。しかし、仕事はしたい気持ちがあるので、体調のことを考え、U就労移行支援事業所（以下、「U事業所」という。）に通うこととした。LさんはU事業所だけでなく、V機関を利用することとした。V機関では職場実習を体験し、U事業所終了後はV機関で就労だけでなく、生活面の相談をしながら就職を目指した。（問題161）

Lさんは、U事業所で「負担があるときは相談すること」「疲れたら休むこと」など病気と付き合いながら働くことを学んだ。V機関を利用しながらハローワークで仕事を探し、従業員数130名で障害者雇用の実績のないW印刷会社の経理・事務業務に障害者雇用第一号として働くこととなった。Lさんは、1年更新の嘱託契約で週25時間の就業時間で採用された。（問題162）

就職後、Lさんは雑務のような仕事が多く、自分の資格が活かされていないと思っていたが、胸の内に留めておいた。入社4か月後には、「経理事務に関する新しいパソコンソフト導入に従い研修を実施するが、障害者雇用であるLさんは参加の必要がない」と告げられた。Lさんは障害者だから不当な対応をされているのではないかと不安になり、V機関のM精神保健福祉士に相談した。そこで、M精神保健福祉士はLさんの意向を踏まえ、事業主への対応を検討することとした。（問題163）

問題 161 次のうち、Lさんが利用したV機関として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 障害者就業・生活支援センター
- 2 就労継続支援A型事業所
- 3 地域障害者職業センター
- 4 自立訓練（生活訓練）事業所
- 5 就労定着支援事業所

問題 162 次のうち、「障害者雇用促進法」における事業主に対する措置で、W印刷会社に適用されるものとして正しいものを1つ選びなさい。

- 1 特定求職者雇用開発助成金（障害者初回雇用コース）
- 2 障害者雇用調整金
- 3 障害者雇用安定助成金（障害者職場適応援助コース）
- 4 障害者雇用納付金
- 5 トライアル雇用助成金（障害者短時間トライアルコース）

(注) 「障害者雇用促進法」とは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」のことである。

問題 163 次のうち、M精神保健福祉士が行う事業主への対応について、その根拠となる法制度として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 生活困窮者自立支援法
- 2 「障害者虐待防止法」
- 3 「障害者差別解消法」
- 4 「障害者総合支援法」
- 5 「障害者雇用促進法」

(注) 1 「障害者虐待防止法」とは、「障害者虐待の防止，障害者の養護者に対する支援等に関する法律」のことである。

2 「障害者差別解消法」とは、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」のことである。